

名古屋市立大学病院

蛍光眼底造影検査に関する説明と同意書

私は、患者 様（名古屋市立大学病院 ID : ）、
生年月日： 年 月 日）に名古屋市立大学病院で施行する蛍光眼底造影
検査について、別紙説明文書のように説明いたしました。当院では患者様に十分理
解して頂いた上で、自由意思に基づき医療を選択して頂くよう努力しています。説
明文書には、検査に関する予想されうる診断名、検査の名称、目的と必要性、効果
と限界、危険性と合併症などが必要に応じて記載されています。御確認下さい。ま
た医師からの説明および説明文書などに疑問な点などがありましたら、いつでもお
尋ね下さい。

主な病名および病状： _____

手術、検査、処置の名称： _____ 蛍光眼底造影検査 _____

実施予定日： 令和 年 月 日

説明日時： _____

説明医師： _____ 医師： _____ 印
(自筆署名, もしくは記名押印)

立会人： _____ 印
(自筆署名, もしくは記名押印)

名古屋市立大学病院院長様

私は、現在の病気の診療について上記に基づき説明を受け、手術、検査、処置の内容
を十分に理解し了解した上で手術、検査、処置を受けることに同意いたしました。

令和 年 月 日 患者氏名： _____ 印
(自筆署名, もしくは記名押印)

家族等氏名： _____ 印
(患者との間柄：)
(自筆署名, もしくは記名押印)

この蛍光眼底造影検査では、約 10%の人に、アレルギー反応として、吐き気、嘔吐、低血圧、徐脈、呼吸困難などが起こることがあります。また、約 1%の人に、じんま疹がでることがあります。10 万人に 1 人の割合でショック症状を引き起こし、生命をおびやかすような危険な状態に陥ってしまうこともあります。

ごく稀ですが死亡例も報告されています。

フルオレセインナトリウムはほとんど尿から排泄されます。検査後 30 分で薬 90%の造影剤は体外へ排出されるといわれています。透析中の方も次の透析でほとんど取り除かれます。しかし、腎臓の悪い方や透析中の方は内科または透析の担当医と相談の上、検査を中止することもあります。

インドシアニングリーンは血液中のタンパク質と結合し肝臓に取り込まれ、胆汁中に排泄されます。肝臓の悪い方や透析中の方は内科または透析の担当医と相談の上、検査を中止することもあります。

2. 予測される合併症と頻度および対策（重要と考えられるもので、これ以外にもあります。）

1) 急性アレルギー反応（約 10%）（吐き気、嘔吐、低血圧、一過性徐脈、一過性呼吸困難など）：一過性の症状であればそのまま様子を見ます。

2) じんま疹（約 1%）：軽度であれば経過観察とします。症状が強いときにはステロイド剤などの投薬、皮膚科受診をしていただきます。

3) ショック症状（非常に稀）：その場で救急処置をしながら当院の救急部と連携し、症状にあわせて集中治療を行います。

4) 皮下出血（頻度不明）：末梢の血管の弱い方は針で血管が傷つけられることがあります。また血管外に造影剤が少量漏れることがあります。このような場合には局所の皮下出血が生じますが、数日で吸収されています。

5) その他（頻度不明）：予期せぬ合併症が起こる可能性があります。

代替治療法などの内容と利害得失

1. 代替検査はありません。

2. 検査を行わなかった場合には細隙灯顕微鏡検査、眼底検査、網膜光干渉断層計による検査（網膜血管撮影を含む）血液生化学検査などで病状を判断、診断をすることになり原因疾患の確定、あるいは治療法の決定が困難になります。そのため適切治療法を選択できない場合があります。

3. 合併症の出現時には適切に対処致しますが、それに関する費用は患者様の健康保険の適応となります。

4. その他必要事項を記載

検査前日はよく睡眠をとり、体調を整えてください。

検査当日の朝食は召し上がっていただいて構いませんが、来院後の飲食は控えてください。

体調がすぐれない場合は検査医師と相談してください。

検査中気分が悪くなった場合などは、我慢せずすぐにお知らせ下さい。

